第270号 - 2020年4月1日

発行・東北大学職員組合書記局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1 内線 片平 (91) 5029 022-227-8888 (TEL) 022-227-0671 (FAX) 編集・コア編集委員会



◆大学は 教職員の雇用を守り 労働条件を改善せよ ◆国は 国民の命と暮らしを守れ

歓迎のメッセージ

東北大学へようこそ

東北大学職員組合執行委員長 片山知史



ましょう。 ましょう はいましょう はいん で、 安 名 と が で、 ち る よ う ま

なり意でがき るが 活改身あ員 いに必教決はたか織ぜすに 。し私 て不要職め、ち は利が員る大の、益あのの学働 てた

す外換希れの一う い学期は行職での ま内転

の皆貴し 私員に に、待た組はか てっさとく 日遇ち合教 いもんし東

のくルん経職 組場の り協 織をルま議

せ守ん仲あ者 でで望ま大昨に皆んらで間りは一ですを な自と弱、方する決組け組 く分スい雇う てたク立わ私 はちラ場れた な自厶でのち り身をす身労 わ員はよ で働 な良一せを

教職員共済の紹介

- ●厚生労働省の認可を受けた生活協同組合 (生協)です。
- ●教職員を組合員とする、教職員と家族の 生活を守るための生協です。

(HPより抜粋)

【種類】

*総合共済 *火災共済·自然災害共済

*自動車共済 *車両共済 *年金共済

*团体生命共済·医療共済 *新終身共済

*交通災害共済 などなど

ご利用ください

ATMが 便利でお得です

ろうきんのカードなら、セブン銀行・コンビニ エンスストアのATMなどで、いつでも必要な時 にお引出しが可能です。

しかも、ATMお引出し手数料を即時全額キャッ シュバック!! なにかと忙しい社会人にピッタリで (労金のチラシより抜

₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽₽

学支援

新

配

年度の運営費

全大教合同 地区 1別単. 組代表者会議

黒瀬

組たに 全大教合同 北 表者会議 大におい 地 て 区別単 出 行 ħ

る 2 月 15

日

S

16

日

つい

て

情報交換を行いまし

た。

が参加しました。 役員等も含め延べ24 秋田大、福島大、 前大、岩手大、山形大、 蘭工大、北見工大、 大水産、 苫小牧高専から 北教大(札 旭川 弘 室 名

ションは「大学・高等 は「組織拡大・ ションは 第1セッションでは、 育課題 からなり、第1セッ 会議は3つのセッショ 第3セッション 「労働条件課 第2セッ 強 化

究体制が弱体化してい職員が減少し教育・研 があ されました。 る各大学の 金 いました。運営費交付 第2セッションでは、 一の削減の影響で、 関 て情報交換を行 各単組 様子が報告 の 状況

北大のほか、

各単組の状況について についての紹介があり、 員の業績評価・年俸制 る全大教の考え方、 無期転換への取り組み 「働き方改革」に対す

ました。 同 ならないことが多くの の議論もなされました パワハラなどについ 単組で問題になってい 週に行わなければ 員の勤務時間の 休日労働の振替を **アカハラ・** て 記

年に1 見直 代表 1 回 へ の なされました。 での全国教研集会を2 明及びその改善策(年 全大教の財政状況の説 が活発になされました。 みなどについての議 第3セッションでは コメント、 しなど)の提案が 者会議 の合同地区別単組 拡 大への取り組 旅費支給 1 泊 2 各単組 改善策 の 日

> シュと一緒に加 書を配る) (労金のポケットティッ 職 組 の が紹介 取 IJ 八十八 組 され 4 が せるために本組 す ま の し 財 政 悪

> > *t*=

1=

な

成 し

本組合の相対的な状況・ 状を知ることは、 ました。 他大学· 他単 本 学 組 の 現

こうした機会を持続 これからますます組 拡 きることは、や 大に取り組 拡 大だと思い んでい ます。 、はり組 合が たが か で

て行われたは

たらく

会に

実行

宮城県

で

位置を理解することで なければなりません。

きました。その他の連

功のために取り組んで

委員として参加 女性の中央集

成

女性部定期大会

おしゃべりの中から要求が

公女性協総会などへ参 県労連女性部大会、

玉

会、国際女性デー集会、

親大会、

宮城県母親大

帯活動として、

日本母

加してきました。

多岐

にわたる女性部活動の

病院支部 中川佳子さん

資金作りの

ため、

リン

力を入れました。

うめんなど物資販売に ゴジュースや手延べそ



昨年仲間に加わっ < れた方 て

苦労している様子 単組も組織拡 方 名が で行 3 月 12 知 定執 われた大会に8 行委員長 片平書記 の ん です

拶のあと、 きたことが報告 の女性役員を中 員を決めずに、 に入りました。 されました。 心に活動をして 本部執行委員会 今年度から役

なハラスメントも許 つはハラスメン 東北大学はど 主な活動の一 ぱい食べながら、まず 作り食材を、おなかいっ を実現する活動へとつ から要求が見え、 解消されない社会に なることから始めよう すべく、 ながるとの経験を活か い て、おしゃべりの 男女差別がなかな 自分たちが元気に たくさんの手 それ

に採択され しかった。

研究でも忙

多忙であった。

職員の要求を粘り強く

飛田

理学部支部

職者からの

メッセージ

合活動と研究活動の密 接な

理学部支部 山下正廣さん



言したために、 都立大学をつぶすと宣 を行った。 都 金 庁 全 確歸 前

石原慎太郎知事が突然、

合委員長

時

に

東京都

立

私

が

都立 の

時に研究面では科学技毎日を送っていた。同組合活動に大変忙しい 当然、 術振興機構 の 理 組合委員長を務め に10年近く関わって、 東北大学などを転々と ブレベルであると思っ 屋大学、東京都立大学、 「さきがけ研究21」 大学問題専門委員会」 名古屋大学では 論的主柱であ 研究でも世界トッ ずれの大学でも (J S T) た。 組 合 でめ民あにの

の時に当時の 部立 4 大学組 立大学に移る も行った。 この 組 と科研費基 合委員長を行った。 中でもC 北大学でも、 盤 R E Sを2 S П

受賞 守 『る会』設立集会で『な会』設立集会で

る。 究に は、 仕事 は京 ア ト 組 都 組合活動を一生懸私が強調したいの をし 大学時 集中したそうであ 合の できないも し え - ップの て て、 専従 特別 の研究は 午後 ع H Ш た午い前 の 先 演 は、 うこ 1= 生 を 絶 研 な 中

私

は

九

大学、

名

古

1

万

ഗ

を

て座

IJ 人

込

をやった

石

原 み

事は

都

対にできない い

ある」といって、

私 反

地 往

方

公務員法違

来を妨害し

たた

当時の茂木都立大総長てしまった。した、は「訓弁 り 潰 S T 代にも科学技術振 傷 時に行っていて研究も 学術創成研究」を である。 JST) OCR したために私は と文科省 都立大学時 科研 興 同 費 機 無 Ε

博実さん

であ

り、

多

世

ず。 大学

Т 口

科に 加入しまし る 私 間 は 北 35

*め、

か 員

IJ

とても学問

大 学 側

は

寸

体

交 つ

渉

したが、仕事が軌道に 30代、40代の頃は研 30代、40代の頃は研 できませんで は の は の は の は の は の は の は と 多くの方々に支えられ 乗ってからは、 結し ら、 部執行委員長も経験 行委員長 ŧ て何とかやり遂げまし 経 のだ、 験 者の体験 て自分で勝ち取 労働者の そのために <u>3</u> 回 権 談 支部 など 利 ゃ は る 執に 組 寸 か

せたり、 ろ ために協 を割 たちと仲間 職員組合の 誠実で つ た議 力して働く 同じ目的の 熱意. 論 1 良 を戦 になり、 い ځ ある わ

などで色々な人と交 交流会やビール祭り 喜びが得られること 新春

います。

流するのも楽し

り、 はこれからも るはずです。 しくお願い ますのでよろ 協力して行き 組合活動に 演奏、 で

そのころ、本や雑誌 もなく 助手とし 大学理 前 職 学部 て赴 日 組 校 任 化 なかなかできません。ので、実りある議論は誠実な対応をしてくる府とは思えないほど不 得られれば必ず動か ることだと思いま という大きな岩も、 < 継 続は力 かなかできませ 執行委員 近 みます。 見を集 ね では をして 人の支持や共感が

水泳などを楽しんで書やリコーダー演奏 なってお る ると信じます。 頃には年金生活者と 私は、この記 事 が

好きな読

トラフの背

ルみ込み

用

により、

在進行形の 沖縄本島には

ŧ

将

活

動

で す て は時 て露頭は破壊されたが、 るように、 先生は、 者は辺野古基地内 沖 で ち 近年の ゎ て調 指 導 縄 あ ょ うど 行 本 い つ が け 教 査 江事に 世よ、 っても るところ 北 筆 官 海 (ハブ 者 指 洋 の 示され 中 の 博 で らえ 現 が Ш あ 卒 開 ŧ 地 は い Ó 過 古基地 さらに れる。 谷である辺野古川

この

延長

北

ような

正 野

断 古

野

層 層 断 が

数

の

辺 正

査していて、 筆 者 命 域 の 正 の向きの の航 の 断 南西 層 の

置する。

グ

1

グ

西

南東 の

名による辺野古

(名護市

危険な断層で

ることを指摘

楚久断

空写真で 1縁に当 氷深の 活動の しは、 分始まり 「たる。 深 海

テッポウユリや

層も筆者による。

辺野古岬先端にあった沖縄本島唯一 の砂丘砂の露頭。 遺跡ともに永久に失われた。

て

在

引 て

あ

さ

断

となる。

リン 未固 は

も危

な 辺

Α

r

ップさせ、

その

後

公が安心. ける

て暮ら

実現

て を

社

会

で

あ

感染拡

大を早期

1=

ス

あ

る

断

般に難し

を

因

北東海域 向きで、 ル の は の 層 沿 辺野 を 断層 は マ 1 ッ 通 つ は 埋 0 崖 と併 ŧ が 密 性に れ は の に 判 が 向 る の 島 め 万 1 入し 年前 る。 特定できる。 世 あ 嶼 窪みを新期 読 か 段 5 化し て断層 ij つ 丘 で 0 この て、 海の堆積 き て 同 は 万 空 傾 時 とき、 位置を 中写真 沖縄 斜する 現地 層 前 琉 球 の 断 で で、 本 調 物 1 層 断 切

る か ま 灰岩からなる ょ 段 < 断 IJ 正 丘 て ŧ 切 村 傾 層 断 現 6 河 の 崖 層 ħ 活 魚 τ ī Ш 引き 断 向 動 新 を い 年とそ 積年代 特徴的

均 れ

変位 ば、

速

度 野

は

25 の 定 2

m

辺 れ

古断

層 仮

平

/ 1

年となり、

野

対応は難 (専門 公開 玉 リング掘削 古 会社に委託 され 地 でないと 沖 はない し い の 質コン てい 音波 が 理 る 探 サ の し その 解 査 資 料 タ 地

٦

弱 が

4

13

雇い 月

止 日

が無効

を

求める裁

断 照 ま

覆って 層運動 で堆積 を示す、 繰り返し 断層崖は厚さ85mの海東側が落ち込んでいる。 層に 料によれ 堆 落 い ち込んだ岩盤 よって岩盤 と埋積が 積 し た堆積 物に る。 起こったこと 下方に凹 ば、 ま 交互に 物 辺 な、 は北 野古 が 正 を 断 海 楔 に 明である。 るらしいが 外 走 ら あ 辺 あ 飛 所 0 İ る。 れる つ 野 行 ま 0 嘉 に 手

で

査

ら 堆 型 地 険 選択は最悪に近 ŧ 地 ある。 の巨 い高 は 関西空港で記 大津 潮 地 基地 や、 波 の **ഗ** 海

石 島 海

れ

る。

٦

の

)堆積

物 が

の

な

反射面

見

を最終氷期

万

以降と

す

の 地 マ し た 場を作 でを埋 3 軟 盤 崖 て 納基 とさ ネー を埋 いな 弱 の 深 地 は · ズ 並 地 る め い 盤 れ め 11 元 理 位 る 立 は が は 敢 て へえて)堆積物 てて、 置に 由 H 料 内 水 い この る。 の 陸 は 深 を あ 軟

4

月

Ė 14

規 日

職 火

員 相談

カフ

新辺野 辺野古 基地でも 海 面 ^北震被害以 計古海上滑 弾 近 < 薬 に 台 庫 危 溝 憶 作

が

の

5

層

の

して根 る 始 しまっ 態に陥っている。 たな の 現 か 今 終 では の スに な 頃 の さらに深 て な 行 発 い ij の い 期 向 時 つ 11 新 行 見 待を かと か 型 **0** 通 は つ て 準 \Box L し な 刻 て 備

·つつあ いう ナ か い を

M